

10月30日 プログラム

9:00 - 10:20 セッション4 :

患者がん三次元培養技術を活用した病態解明の取り組み

10:20 - 10:30 休憩

10:30 - 11:30 企業講演

セレックバイオテック株式会社

11:30 - 11:40 休憩

11:40 - 12:50 企業展示・ポスター

12:50 - 13:00 休憩

13:00 - 14:20 セッション5 :

がんの鶏卵モデル

14:20 - 14:30 休憩

14:30 - 15:30 企業展示・ポスター

15:30 - 15:40 休憩

15:40 - 17:00 セッション6 :

がん免疫に関するin vitroアッセイ系

17:00 - 17:10 休憩

17:10 - 18:30 セッション7 : 患者由来がんモデルとその先にあるもの

18:30 - 18:40 閉会のあいさつ

シンポジウムセッション4

患者がん三次元培養技術を活用した病態解明の取り組み

座長：後藤 典子 金沢大学がん進展制御研究所

演題1 シングルセル解析による難治がんの組織多様性及び治療抵抗性解明に向けた試み

国立がん研究センター研究所、がん分化制御解析分野

岡本 康司

演題2 男性・女性がんの患者由来がん三次元培養・移植モデルと病態解明への応用

東京都健康長寿医療センター研究所システム加齢医学

井上 聡

演題3 乳がん患者由来がん三次元培養からがん幹細胞の不均一性に迫る

金沢大学がん進展制御研究所

後藤 典子

シンポジウムセッション5

がんの鶏卵モデル

座長：玉野井 冬彦 京都大学

演題1 鶏卵モデル確立の変遷

金沢大学

遠藤 良夫

演題2 腫瘍移植鶏卵モデルを用いた癌の創薬研究とPDXモデルの開発

徳島大学

宇都 義浩

演題3 消化器系がんと肉腫の鶏卵モデル

京都大学

玉野井 冬彦

シンポジウムセッション6

がん免疫に関するin vitroアッセイ系

座長：高木 基樹 福島県立医科大学 医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター

演題1 患者由来がん細胞を用いた免疫細胞による細胞傷害性アッセイ

福島県立医科大学 医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター
高木 基樹

演題2 免疫原性を抑えたiPS細胞由来血管内皮細胞を用いた Cancer-on-a-Chip

筑波大学 医学医療系, トランスポーター医学研究センター(TMRC)
三嶋 雄太

演題3 イメージングによる三次元細胞モデルの解析

オリンパス株式会社生体評価基盤技術
石原 弘也

シンポジウムセッション7

患者由来がんモデルとその先にあるもの

座長：井上 正宏 京都大学

演題1 AIによる細胞内遺伝子ネットワーク解析

京都大学 大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻 ビッグデータ医科学分野
玉田 嘉紀

演題2 細胞外マトリックス工学による腫瘍間質の再構築

大阪大学工学研究科
松崎 典弥

演題3 マイクロ流体デバイスによる血管化スフェロイドの構築と
電気化学的な機能評価法の開発

東北大学学際科学フロンティア研究所
梨本 裕司